

竹川病院

竹川病院野球部

功 績	日本メディカルスポーツ協会主催軟式野球関東親善大会で優勝し病院のアウトプランディングに寄与した功績
推 薦 者	原田 俊一
推 薦 理 由	休日などを合わせ業務外で練習に励み、見事日本メディカルスポーツ協会主催軟式野球関東親善大会で優勝したため

内 容

竹川病院野球部の始まりは、東坂下から桜川に拠点が移って間もなくのことでした。近くに城北中央公園の球場があったことから、野球好きが集まり、紅白戦をするなど楽しんでいて、活動は、あくまでメンバー同士で親睦を深める程度でした。その後、徐々に参加メンバーが増え、リハビリテーション部だけではなく、看護師や介護士、相談員など他職種の野球経験者も参加するようになっていきました。

あるとき、東京都軟式野球連盟で審判をしていた方が入院してきたことをきっかけに、板橋区軟式野球大会を紹介され、参戦することとなりました。板橋区は東京都内でも野球が活発で強豪チームも多い地域でしたが、普段の業務でチームワークを培ってきたナインは、試合でもチームワークを発揮し、初参戦から順調に勝利を重ね、2017年板橋区軟式野球大会秋季大会にて優勝を収めました。大会期間中、選手の家族だけではなく、医師や事務の皆さんも応援に駆け付け、毎回試合を重ねるたびに盛り上がっていきました。

ところが2020年COVID-19流行に伴い、活動は中止を余儀なくされました。それから4年を経て、日本メディカルスポーツ協会が主催する医療従事者のための野球大会があることを知りました。初めは、5類になったとは言え感染するリスクがありながら野球をしていいものか、とメンバーには葛藤があったようですが第3回JML関東親善大会にエントリーすることにしました。当時のメンバーに加え、若手スタッフに声をかけ、メンバーを集め業務後の練習を重ねていました。

大会結果はなんと優勝。そのままの勢いで同大会主催の全国大会に11月に出場できることとなりました。

キャプテンから

「天皇賜杯常連の強豪チームが集まる中でジャイアントキリングを起こせるようOurTeamで挑んできたいと思います。大好きな野球をさせていただけている職場と家族に感謝を忘れず、精一杯「竹川病院」の名を背負って頑張りたいと思います。」